

平成30年度学校評価【生徒】

評価基準	4	よくできた 強く思う よく知っている	3	できた 思う 知っている	2	あまりできなかった あまり思わない あまり知らない	1	できなかった 思わない 知らない
------	---	--------------------------	---	--------------------	---	---------------------------------	---	------------------------

上の評価基準からあてはまるものを選び、評価欄に記入しなさい。

No.	評価項目	評価
1	分かりやすい授業が行われていて、あなたは学習内容をよく理解できている。	3.0
2	あなたは、授業に積極的に取り組むことができている。	3.2
3	先生は、宿題、週末・休業中の課題等により家庭学習の習慣を確立するよう工夫している。	2.6
4	あなたは、宿題、週末・休業中の課題等にしっかり取り組んでいる。	2.7
5	あなたは、わからないことがあれば、先生に質問し、理解するようにしている。	2.9
6	(5で3または4と答えた生徒へ) あなたが質問すると、先生は、わからないことやできなかったことについて納得がいくまで教えてくれる。	3.3
7	伊和高校では、長期休業中の補習や平常の早朝・放課後に補習が行われており、学力の充実を図るための機会がある。	3.0
8	あなたは、案内された補習に参加し、その成果が得られている。	2.6
9	あなたは、進路実現に必要な科目や興味・関心のある科目が選択できている。	3.1
10	先生は、生徒に進路実現に向けて必要な情報提供やアドバイスをしている。	3.1
11	先生は、挨拶・身だしなみ・言葉遣い・マナー等について統一して指導している。	3.0
12	あなたは、挨拶・身だしなみ・言葉遣い・マナー等をしっかり守っている。	3.2
13	先生は、生徒とのコミュニケーションを密にしている、生徒との信頼関係ができている。	3.1
14	あなたは、総合的な学習の時間等における体験的な学習やボランティア活動に積極的に参加している。	3.1
15	伊和高祭・体育大会等の学校行事は充実していて、あなたは積極的に参加している。	3.1
16	部活動、生徒会活動、勉強、趣味、家事手伝い、アルバイト、地域活動、ボランティア活動などをおして、あなたは、放課後や休日の時間を充実させている。	3.3
17	あなたは、伊和高校に満足している。	3.1
18	伊和高校は、生徒ひとりひとりの今と未来を大切にしている。	3.2

平成30年度学校評価【保護者】

評価基準	4	よくできている 強く思う	3	できている 思う	2	あまりできていない あまり思わない	1	できていない 思わない
------	---	-----------------	---	-------------	---	----------------------	---	----------------

上の評価基準からあてはまるものを選び、評価欄にご記入ください。

	評価項目	評価
1	学校ホームページの更新を随時行い、学年通信等とあわせて適切に家庭や地域に情報を提供している。	2.7
2	進路講演会や進路別説明会、インターンシップ等を実施し、望ましい勤労観や職業観を育成している。	3.1
3	交通指導、避難訓練を適切に実施し、安心・安全な学校生活の維持に努めている。	2.9
4	いじめアンケートを適切に実施し、安心・安全な学校生活の維持に努めている。	2.8
5	地域でのボランティア活動(地域清掃・福祉施設訪問等)や幼・小・中学校との連携を通して、地域に貢献するとともに交流を深めている。	3.0
6	生徒会活動や部活動及び「総合的な学習の時間」の在り方を工夫し、生徒の多様な個性や能力の育成に努めている。	2.9
7	少人数授業を通して、ひとりひとりのニーズに応じた指導を行うことで、学習意欲を高めるとともに確かな学力の定着を図っている。	3.0
8	多様な進路の実現に向けて、長期休業中の補習や平常の早朝・放課後の補習を適切に実施している。	2.9
9	生徒の進路実現に必要な科目や興味関心のある科目が選択できるよう教育課程を工夫している。	2.9
10	生徒ひとりひとりへの丁寧な声かけを通して、挨拶・礼儀・服装・言葉遣い・マナー等について意識を高める指導を行っている。	2.8
11	個人面談やキャンパスカウンセリング等を適切に実施し、生徒の内面理解に努めている。	2.9
12	職員と生徒との間で適切なコミュニケーションがとられ、相互の信頼関係ができています。	2.9
13	家庭への諸連絡の方法(配布物、電話等)は適切で、保護者との連携が十分に図られている。	2.9
14	伊和高祭や体育大会等の学校行事の内容は適切で、生徒が意欲的に取り組んでいる。	3.0
15	伊和高祭・体育大会・「総合的な学習の時間発表会」等の行事に、保護者や地域の方が参加しやすいよう工夫している。	2.8
16	地域と連携した行事等に積極的に参加を促し、熱意と誇りを持ってふるさとで生きる自覚を育成している。	2.8
17	生徒ひとりひとりの今と未来を大切にされた教育活動を行っており、信頼できる。	3.0

平成30年度学校評価【学校関係者】

学校評議員の皆さんによる学校評価

4：よくできている　3：できている　2：あまりできていない　1：できていない

	評価項目	評価
1	学校ホームページの更新を随時行い、学年通信や行事の案内等とあわせて適切に家庭や地域に情報を提供している。	2.7
2	オープンハイスクールや中学校訪問等を通して、地域に新しい取組について広報している。	2.8
3	進路講演会や進路別説明会、インターンシップ等を実施し、望ましい勤労観や職業観を育成している。	2.8
4	交通指導や校舎内外の安全点検、いじめアンケート、避難訓練等を適切に実施し、安心・安全な学校生活の維持に努めている。	3.0
5	地域と連携した事業を実施したり行事等に積極的に参加を促したりすることで、熱意と誇りを持ってふるさとで生きる自覚を促している。	3.0
6	生徒会活動や部活動及び「総合的な学習の時間」の在り方を工夫し、生徒の多様な個性や能力の開発に努めている。	2.7
7	授業を少人数や習熟度別を実施したり、主体的で対話的な深い学び等の視点から授業改善をはかり、確かな学力の定着を図っている。	2.4
8	生徒ひとりひとりへの丁寧な声かけを通して、挨拶・礼儀・服装・言葉遣い・マナー等について意識を高める指導を行っている。	2.8
9	個人面談やキャンパスカウンセリング等を適切に実施し、生徒の内面理解に努めている。	2.8
10	職員と生徒との間で適切なコミュニケーションがとられ、相互の信頼関係ができている。	2.8
11	家庭への諸連絡の方法(配布物、電話等)は適切で、保護者との連携が十分に図られている。	2.3
12	伊和高祭や体育大会等の学校行事の内容は適切で、生徒が意欲的に取り組んでいる。	3.0
13	伊和高祭・体育大会・「総合的な学習の時間発表会」等の行事に、保護者や地域の方が参加しやすいよう工夫している。	2.5
14	特色類型のあり方を見直しキャリア教育類型として整備することで、地域と一体化した生徒の育成が可能になるよう工夫している。	2.8
15	生徒をネット依存から脱却させることを目指し、スマホルールの改訂に加え睡眠リズム調査や講演会等を実施し、一定の効果をあげている。	2.5
16	生徒ひとりひとりの今と未来を大切にされた教育活動を行っており、信頼できる。	3.2
17	いじめ防止対策推進法について職員が理解を深めている。	3.0
18	いじめ対応について、組織的に対応できる体制ができおり、組織的に対応している。	3.0

平成30年度学校評価項目

教職員による自己評価

【教育方針】

校訓「自主、敬愛、創造」のもと、自立して生涯にわたって夢や目標に挑戦し、ふるさとを愛し、他者と協働しながら、地域社会を切り拓く有為の人材を育てるために、「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の育成を図るとともに、「公共の精神」と「郷土を愛する心」を養う。

【教育目標】

- (1) 活気に満ちた安心安全な学校づくり
- (2) 豊かな人間性と社会性を育む学校づくり
- (3) 地域に信頼され親しまれる開かれた学校づくり

4：よくできた 3：できた 2：あまりできなかった 1：できなかった

領域	評価の観点	評価項目	番号	実践目標	H31.1	
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	学校HPを随時更新する。	2.6	
			2	「学年通信」及び「伊和の里だより」等を発行する。	3.2	
			3	オープンハイスクールや中学校訪問等を通して、新しい取組について周知させる。	3.3	
		4	学校評議員会、伊和の里ひとづくり懇話会、生涯教育推進協議会、伊和高等学校教育振興協議会等を通じて地域と課題を共有し、地域と連携しながら学校改善に努める。	3.2		
		5	積極的な参画を促し、熱意と誇りを持ってふるさとで生きる自覚を育成する。	3.1		
	生徒指導	生徒指導体制の充実	6	生徒の実情に応じた指導内容を全職員で共有し、一貫した生徒指導を展開する。	2.8	
			7	キャンパスカウンセリングやカウンセリングマインド研修を適切に実施し、生徒の内面を理解するとともに、その健全な成長を支援する。	3.5	
			8	いじめ防止対策推進法について職員が理解を深めている。	3.0	
			9	いじめ対応について、組織的に対応できる体制ができており、組織的に対応している。	3.2	
	進路指導	進路指導体制の充実	10	3年間を見据えて、進路指導に関する年間計画を作成し、組織的・継続的に進路指導を実施する。	2.7	
			11	進路講演会・進路別説明会・卒業生との懇話会・インターンシップ等を実施し、適切な進路目標を決定させる。	3.3	
	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	12	全職員が実践的な指導技術や専門性の向上を目指し、校内外の研修等に参加する。	2.8	
			13	定期的に公開授業・研究授業を行う。	2.9	
			14	専門部と学年との相互乗り入れ等による協働体制をいかし、教職員間で常に学びあうことで組織力を高める。	2.8	
	危機管理体制の整備	危機管理体制の推進	15	平時においても環境整備等、常に安全・安心について意識して、危機発生に備えた研修や訓練等を実施する。	3.1	
	インクルーシブ教育	教育的ニーズへの対応	16	特別な支援が必要な生徒について全職員で共通理解を図り、「合理的配慮」に基づいた適切な支援を実施する。	3.3	
	人権教育	人権教育の推進	17	学校の教育活動全体を通じて自分や人を大切にする態度を育成するとともに、職員も生徒の範となるよう、人権に配慮した言動を心がける。	3.0	
	特色選抜生	地域で活躍するリーダーの育成	18	個別に選択した課題研究の活動を支援するとともに、校外研修や大学との連携を通してリーダーとしての自覚を育成する。	2.8	
	勤務の適正化	効率の良い勤務形態の推進	19	校務分掌や学校行事の精選、適切な勤務の割り振り等を実施し、勤務時間の適正化を図る。	3.0	
	教育課程	確かな学力の育成	基礎・基本の徹底	20	生徒の特性に合った授業形態を工夫して学習意欲を引き出し、基礎基本の確実な定着を図る。	2.8
			主体的・協働的な学習の展開	21	主体的・対話的で深い学び等の視点から授業改善に取り組む。	2.7
				22	評価方法について協議し、各教科・科目において観点別評価を工夫する。	2.8
		特別活動	部活動や生徒会等の活性化	23	生涯学習の一環に部活動を位置づけ、卒業後の豊かな社会生活に資する。また、全校集会や学校行事の運営等について生徒会の主体的な活動を促す。	2.6
		特色選抜の改編	地域事業所と連携したカリキュラムの策定	24	平成30年度 キャリア教育類型の実施にむけて、カリキュラムや授業内容の概要を固める。	3.0
				25	地域の事業所等との連携を図るために、連絡協議会等で、事業所との連携を構築していく。	2.9
	通級指導	通級指導の充実	26	通級指導の充実を図るため、通級に関する知識や情報を共有し、生徒への適切な対応ができる。	3.1	